

議会内新会派【自由民主党県民会議】を結成

昨年4月1日、徳島県議会内新会派「自由民主党県民会議」を結成いたしました。

～新会派結成の思い～

先の統一地方選挙において20年ぶりに知事が交代し、新たな施策が打ち出される中、県内においては多様な声がこれまで以上に聞かれるようになりました。加えて、社会情勢が目まぐるしく変化し、県政においても後回しにできない喫緊の課題が浮き彫りになってきたところであり、この状況を見たとき、今こそ議会の本来の役割であるチェック機能をより一層発揮しなければならないと、その思いを強くしたところでもあります。

私たち自由民主党県民会議は、そういった思いを持った者が相集い、常に理事者と適度な緊張感を保ち、議員自らの政策を提言するとともに、活発な議論を交わし、あらゆる政策に対し【是々非々】の立場を持って、県民への責任を果たしてまいります。



自由民主党県民会議所属議員

- 会長 井川 龍二 (徳島選挙区)
- 幹事長 北島 一人 (板野選挙区)
- 副幹事長 立川 了大 (板野選挙区)
- 相談役 寺井 正通 (阿波選挙区)
- 会員 井下 泰憲 (三好第一選挙区)

自由民主党県民会議活動報告



Facebook



Instagram

日常の活動、県議会定例会報告をSNSで発信しています。ぜひフォローをお願いします。

料金別納
タウンプラス
板野郡にお住まいの皆さまへ

未来のために、
今できるすべてを！

徳島県議会議員
北島一人

きたじまかすと

【発行】
〒771-0204 板野郡北島町鯛浜字川久保16-2
徳島県議会議員 北島一人

北島一人 県政報告

令和7年3月号

去年は元日に能登半島地震が発生、また8月に発生した宮崎県沖でマグニチュード7.1の地震では、南海トラフ地震が発生する可能性が平時と比べて高まったとして、同地震の注意を呼びかける「臨時情報(巨大地震注意)」が気象庁から初めて発表されるなど、発生が予想される南海トラフ巨大地震への早期の対応、備えの必要性をあらためて感じた1年でありました。また、日常生活においては、全国で最大の上げ幅となった徳島県の最低賃金に対する、県内中小・小規模事業者への支援や様々な物価高騰に対する支援等、県内経済の底上げが喫緊の課題となっています。

今後、県政において、引き続き大きな視点と着実な取り組みで、県民皆さまが安心して暮らせる徳島県を実現してまいります。

All for the future

徳島県議会議員
北島一人
きたじま かすと

プロフィール

生年月日 1971年7月9日
出身地 板野郡北島町

1992年3月 国立阿南工業高等専門学校卒業
2008年3月 高知工科大学大学院工学研究科
基盤工学専攻修士課程修了

【令和6年度所属委員会】
●議会運営委員会 委員
●総務委員会 委員
●防災・感染症対策特別委員会 委員

【令和6年度検討会議】
●政策条例検討会議 委員



連絡先

〒771-0204 板野郡北島町鯛浜字川久保16-2
tel. 088-698-8818 fax. 088-698-1196
✉ info@kitajima-k.jp

これまでの県政報告

北島一人公式ホームページにこれまでの県政報告を掲載しています。ぜひ、ご覧下さい!

令和6年3月号
令和5年3月号
令和4年3月号

きたじまかすと 検索

総務委員会での主な質疑内容

<公安委員会・生活環境部・労働委員会関係>

- 藍住町役場敷地内に整備予定の藍住町交番について
- 徳島板野署東側に新設される「遺失物センター(仮称)」の業務内容、整備スケジュールについて
- 県庁敷地内の水素ステーション撤去後、県脱炭素計画における水素施策の位置づけと、今後の取り組みについて
- 高等学校への県内企業の周知について(人材確保)



- 阿佐海岸鉄道の決算概要と、DMVの利活用について
- 最低賃金の引き上げに関し、県の支援体制の考え方、取り組み方の問題点について、および県内事業者アンケートの有効性について
- 大規模停電時における交番等の状況について
- マイナ免許証の概要・更新手数料について
- 県の就活イベント及び企業説明会の年間計画策定について
- 四国のみちの整備状況と広報について



<知事戦略公室・企画総務部関係>

- 「議会軽視」「県民軽視」ととられる知事のSNS発信について
- まちづくり構想、ホール整備について
- ① 事業推進に最も重要な利害関係者(徳島市・地域住民・JR四国等)との協議、合意、同意が不十分な状態での関連予算提出の問題点について
- ② 県市協定に関する協議の在り方について
- ③ 全体構想における課題・問題点、及び解決スケジュールの明示を要望
- ④ 「まちづくり基金」の算定根拠と議事録の有無について

委員会視察報告

Activity Report

県南部視察(令和6年4月24日)

視察先 那賀町 山のおもちゃ美術館・NISHIU de repos

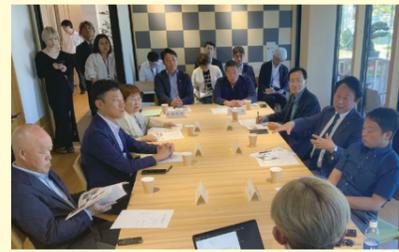
視察先の2施設とも、地元地域ならではの資源の魅力を活かし、教育や子育て、また健康増進等、地域交流の拠点となっている。普段、見慣れている風景や、気づきにくい魅力を地域の活性化につなげており、地方創生への一つの取り組みとして、非常に参考となった。



県西部視察(令和6年5月29日)

視察先 美馬市地域共生交流施設・美馬アグリワーケーション・美馬市総合防災倉庫・heso salon、4S Stay(三好市)・(株)ジェニオ四国支店三好ラボ(三好市)

美馬市の各施設では市が取り組む「生涯活躍のまち」の活動拠点施設として「人生100年時代美と健康のまちづくり推進事業」への活用など幅広い世代の地域住民の交流促進が行われており、三好市の視察先では、それぞれ歴史ある既存建物をリノベーションし、飲食・宿泊、サテライトオフィスとしての人的交流の拠点となっている。各施設とも、人口減少が進む中「関係人口」の創出に大きく寄与するものであり、街のにぎわい創出として参考とすべき事例であった。



県外視察(令和6年7月24～26日)



視察先 秋田県庁・土崎みなと歴史伝承館・はまなす展望台・能代市役所・能代バスミュージアム・五城目町地域活性化支援センター・飯島サンセットパーク・AOW風みらい館

日本海から吹く強い風を資源に、2050年カーボンニュートラルに向けて、持続可能なエネルギーとして有望視されている洋上風力発電整備に関し、環境影響や今後の計画、また地域における雇用、経済波及効果等を視察するとともに、企業誘致や地域コミュニティ活動の場としての廃校利活用事例を視察。現在、徳島県において整備が計画されている洋上発電、また廃校利活用による地域交流等、地理地形的、気象的な違いはあれど、世界・地方で取り組むべき課題の解決の一つとして、将来の徳島県において大いに参考とすべき事例であった。



令和6年6月18日

令和6年6月議会にて代表質問に登壇



質問1 スマート農業技術のさらなる普及について

地元板野郡において、水稻、ニンジン、サツマイモ等の生産に関して、スマート農業普及への強い期待がある一方、スマート農業に係る機械や技術の情報不足、機械操作難度、また高額な導入コスト等がボトルネックになっている。本県農業の省力化と生産性向上に資するスマート農業技術のさらなる普及をどのように進めるのか。

【答弁1：中藤農林水産部長】生産現場へのスマート農業技術の普及加速には、生産者への最新技術情報の分かりやすい紹介と、技術導入推進が重要であり、スマート農業フェスタの開催や、県・国事業の活用、スマート農業支援サービス事業体の育成強化を図る。さらに生産者団体や機械メーカーなどを構成員とする新たな推進体制を構築し、スマート農業技術導入の面的な拡大を図っていく。

質問2 結婚支援のさらなる強化について

令和5年人口動態調査にて、本県の出生数・婚姻件数が過去最少となった背景として、若い世代の恋愛離れ、結婚離れの加速が挙げられるが、一方で、新たな出会いや婚活に対し、マッチングアプリや、結婚相談所等、多種多様なサービス利用も増加傾向である。県においては従前から積極的な結婚支援に取り組んでいるが、結婚を望む方々の多様なニーズに応え、さらなる後押しができるよう、新たな取り組みの強化が必要である。

【答弁2：臼杵子ども未来部長】国の未婚者への意識調査にて、結婚を望む方の約半数が適当な相手に巡り会わないと回答するなど、出会いの機会不足が課題である。本県では、結婚支援拠点「マリッサとくしま」にて、マッチングシステムを活用したお見合いや、趣味コン、アウトドア体験等の出会いイベントを開催し、交際から結婚までフォローする縁むすびサポーター育成に取り組んできた。今月中(令和6年6月)には相性診断の機能を取り入れた新たなマッチングシステムを運用し、PRイベントや個別相談会、ターゲットを絞ったウェブ広告、SNS広報等、積極的かつ効果的なPRを行っていく。

質問3 いじめ認知件数の増加に対する認識及びいじめ防止に向けた取り組みについて

令和4年度の県のいじめ認知件数は2,958件で、過去最多を更新した。早期のいじめ対応には、小さいいじめも積極的に認知することが重要であり、認知件数増加は、各学校での様々な取り組みによる結果といえる。今後は、いじめを生まない環境づくり、いじめの深刻化防止への適切な早期対応が必要であり、加えて教員の負担軽減を目的とした外部専門家や関係機関との連携による組織的対応が必要である。

【答弁3：中川教育長登壇】議員御指摘のとおり、いじめの未然防止・早期対応が必要であり、今年度、新たに3つの取り組みを推進する。

- ①全ての小中学校で設置していたいじめ防止子ども委員会を高等学校等にも設置する。
- ②教員負担軽減と事案の早期解決実現のため、弁護士等の専門家による学校問題解決支援チームを県教委内に設置し、学校だけでは解決困難な事案に対し、組織対応できる体制を構築する。
- ③鳴門教育大学他、複数の教育大学が連携し、いじめ防止に関する専門的知見を研究発表する、いじめ防止支援プロジェクトに教職員も参加し、先進的な取り組みを学ぶ。

質問4 旧吉野川、今切川の堤防整備に関連した橋梁の架け替えについて

北島町に架かる県管理橋梁の高さが、当該河川の計画高水位より低い位置に架かっており、洪水時に水の流れを阻害する恐れや、当該箇所の堤防が未整備のため、その開口部から水が流入する恐れがある。激甚化する自然災害に対し、県民の命と財産を守るため、このような状態にある県管理の橋梁に関し、架け替えなどの対策を講じ、一日も早くこの状況を解消すべき。

【答弁4：松野県土整備部長登壇】議員御指摘のとおり北島町内には旧吉野川・今切川に関連して、現行設計諸元を満足しない県道橋が三橋ある。これらの橋梁架け替えは、川幅が広く、交通量も多く、仮橋による現道交通の確保対策が必要な大規模工事となり、多大な費用と長い時間を要する。一方、全国の一級河川水系では、激甚化、頻発化する水害、また気候変動影響を踏まえた河川計画の見直しが進められており、県内においても、国の堤防整備と足並みをそろえた橋梁架け替えが合理的対応であると考えている。今後の国の堤防整備計画との整合を図り、必要な道路予算を確保し、関係者と連携しながら、対策の方向性を探っていく。



質問5 成田・タイからのLCC路線の誘致について

知事は選挙公約として、成田やタイからのLCC路線開設を訴えられ、知事就任後は令和5年6月定例会の所信表明にて、改めてLCC誘致を表明し、新規航空路線誘致事業として補正予算も計上されたが、この1年間、これらの進捗について、本会議・委員会、また知事定例記者会見や所信表明の中にも言及がなかった。相手がある交渉事であり、利害関係者も絡むこともあり、一部詳細な報告は控えざるを得ないことは百も承知だが、何度も現地へ行かれており、県民皆様の大きな関心事の一つでもあることから、改めてその進捗状況の報告を求める。

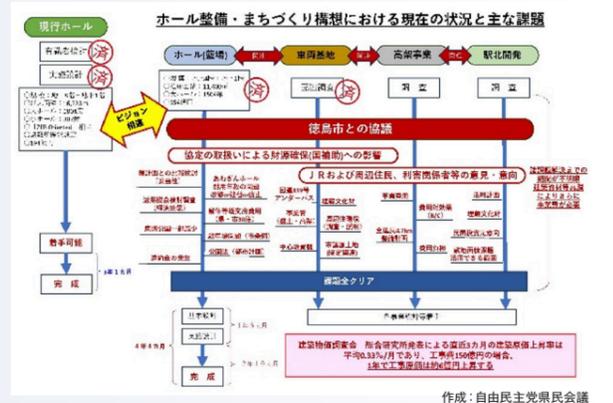
【答弁5：後藤田知事】議員御指摘のように、新規路線誘致は、民間企業である航空会社に対し、多額の投資や路線変更など重要な経営判断を求めるものであり、粘り強い交渉が必要。成田線は、各航空会社に対し協力依頼しているが、コロナ禍の影響による乗員不足や機材繰り等、就航実現にはまだ至っていない。タイ路線は現地旅行博への出展や阿波おどりの派遣、観光セミナー開催等、各種プロモーションを展開し、将来にわたる交流創出のため、県産品輸出や官民交流、経済交流推進に向けた取り組みを進めている。台湾路線は、昨年より、連続チャーター便運航、香港路線は6往復のチャーター便運航が計画されており、新たに徳島—ソウルを結ぶ定期便開設に向けて取り組んでいる。

質問6 新ホールを含む「まちづくり構想」について

令和5年11月定例会に突如発表された「まちづくり構想」について、我が会派、自由民主党県民会議では、4月に結成以来、ホール、鉄道高架、車両基地、徳島駅北側開発について、全体あるいはそれぞれの実現に対し、まずは現状分析を行い、課題を抽出、整理することが最優先と、調査等を実施した結果、構想を実現させるために多くの解決すべき課題が浮き彫りになった。その中でも最も優先して解決すべき課題として「市との協議」「県市協調新ホール整備基本計画に基づく県市協調新ホール整備に関する基本協定」という結論に至ったが、これらについて、今後どのように扱われるのか、所見を伺う。

【答弁6：後藤田知事】

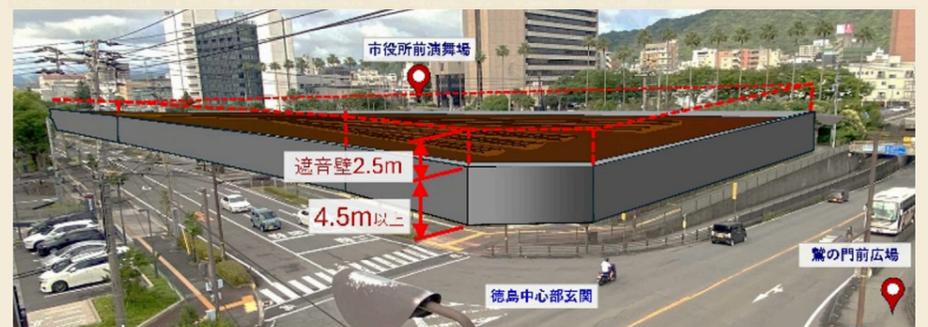
新ホールの建設地変更にあたっては、この県市基本協定をどのように扱うのか、またこれまでの負担をどう整理するのかなど、徳島市との前向きな協議が必要と考える。6月12日には徳島市に対し、藍場浜公園西エリアにおける今回の調査結果を御説明させていただいた。今後、県議会の御理解はもとより、基本協定の相手方である徳島市との相互理解、相互連携が重要であり、県都魅力度アップ推進ワーキンググループを早期に開催し、県都のまちづくりについて、県市協調の下、県市基本協定の取扱いを含め、未来志向で具体的な検討を進めていく。



その他の問題提起

- 新ホール整備候補地調査結果の情報流出に対する内部調査について
- 藍場浜案にて「小ホール」を担うあわぎんホール耐用年数の問題
- ホール建設地変更による完成時期の遅れと資材高騰の影響
- 鉄道高架事業に伴う国道439号線のアンダーパス解消問題
- 旧文化センター跡地への車両基地移転に関して
 - ①周辺地域の民意と騒音問題
 - ②JR四国における用地取得、設備整備、騒音対策、維持管理等の費用の課題
 - ③徳島市の玄関口である鷺の門前の景観の問題

道路建築限界(H=4.5m)を考慮し、盛土案を想定したイメージ



作成：自由民主党県民会議